

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策 災害時における設備は整ったが、近隣との協力体制については、まだ、不十分である。	近隣との協力体制を確立させるため協議を図る	災害時を想定した避難訓練実施時に近隣にも呼びかけ、参加していただく。	6ヶ月
2	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 まだ看取りの経験はないが、施設の統一方針が明文化されているわけでもなく、個々に家族・主治医・職員で綿密に話し合いを持ち方針を共有し対応している。	個々のご家族の考えにもよるが、できるだけ最後の生活が満足いくものとなる様対応していきたい。	機会があれば、ご家族様の考えを事前に聞いておく。	12ヶ月
3	54	居心地よく過ごせる居室の配慮 アンケートの結果に「居室の清掃が不十分」とあったことを受け、居室の掃除を考える。	居室内の飾り方、動線を考えた家具の位置などと合わせて、清潔な空間を作る。	担当者を中心に、毎朝の掃除の仕方、片付け方などをミーティングなどで話し合っていく。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。